

オニはそとーふくはうちー

「オニはそとー!! ふくはうちー!!」——大きな声の園児たちは、あわてて外に逃げ出しました。

ここ、西保育園では一月三日の節分に、みんなで豆まきを行いました。特設のオニの面に我先にと園児達は力いっぱい豆をぶつけて大歓声。オニを追いはらい、めでたく福の神を呼び寄せました。

まいだ豆は、年の数だけ食べて“ヤク払い”。“たくましくがんばろう。”と元気いつぱいでした。

悪い鬼は追つ払え

今月の紙面から

- 1面 鎌沢地区集落排水施設完成
2面 町議会議員の一般選挙
3面 できごといろいろ

広報

あいかわ

昭和63年(1988年)2月27日 秋田県合川町 編集 総務課 電話 0186(78)2100

'88/2

第358号

鎌沢地区

町が五十九年度から進めていた農村総合整備モデル事業の「鎌沢地区農業集落排水施設」がこのほど完成、町立農村環境改善センターで竣工式と祝賀会が行われ、近代的な集落排水施設の完成を喜び合いました。

農業集落排水事業は、農村生活の近代化を目指す事業の一つで、すでに三木田地区では完成しており、地区住民が大きな恩恵に浴しています。

町では、引き続き他集落にも導入すべく数部落の意向を打診し、部落内の合意を取りつけた鎌沢地区での実施になりました。

事業期間は五十九年度からの四ヵ年間(工事施行は六十一、六十二年度)に設定、総事業費一億三千七百七十万三千円(国・県補助金八千二百四十九万円、町費五千五百二十四万三千円)を投入。また、幹線から分岐する宅地内配管、屋内配管と同整備は部落財産処分収入、個人負担をそれぞれ投入して完成をみました。

これにより、集落内八十戸(処理対象人員三百三十人)の生活排水等の処理は大きな威力を發揮するものとみられ、住民の喜びもひとしおといったところ。

当日は約百二十人が出席して現地で神事のあと会場を農村環境改善センターに移して竣工式を行い、設計者、用地協力者など四団体と個人一人を表彰のあと畠山町長が「実施までは幾多の困難があつたが、地元集落をはじめ各方面



鎌沢集落南端に設置した処理場、ここで生活排水などを浄化処理する。

わたしたちの町

人口	4,459人
男	4,459人
女	4,791人
計	9,250人
転入	8人
転出	11人
世帯数	2,295世帯

(1月末日住民登録人口調べ)

▽場所 合川町役場会議室

立候補者予定者への説明会

町議会議員立候補予定者へ選挙管理委員会では次とおり立候補届等の説明会を開きます。

▽日時 3月7日午後1時 30分より

町長日記から

雪が少ない年だと思っていたら、やはり時期がくるとふり出した。毎日の降雪でうんざりするのは老人で、子供や若ものはスキーが出来ることを喜んでいる。

この分では、雪質が硬くならないうちに春になるので、融雪の水害がある確率が高いのではないか。

初冬は、雪が少なくてアスファルト道路が水びたしになっていた時間が長かったことと、前記のよう雪質がやらかなので、春先き又ぞろ路上が水びたしになる時間が長いことが予想される。

雪が少ない年だと思ってい

